

グループホームこすもす

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営			1 ~ 5 (自己 1~24・外部 1~14)	自己評価24項目・外部評価14項目	13	
理念に基づく運営	1 理念の共有(自己 1~3・外部 1~2)			自己評価3項目・外部評価2項目	2	
	1 理念の共有	1 外部評価1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	目配り、気配り、心配り、心に寄り添うケアを、家庭的な雰囲気の中で。近所の方との付き合いを大切にという理念を作り、職員一同で心がけて毎日の仕事に取り組んでいる。	1	近所の方を招待してクリスマスコンサートを開催した。地域の祭りで、ホームの庭で獅子舞と楽打ちを披露してもらった。今後は地域の老人会に参加してもらい、公民館活動に出て行きたいと思っている
		2 外部評価2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を目に付く場所に掲示し、職員会議などで、どういう風実践していくかを検討している。職員は入浴介助、食事の準備などの実務の合間をできるだけ、利用者と会話するように努めている。コンサートの案内を近所を一軒づつ挨拶しながら配った。	1	現在の理念が実践できるようになったら、新しい理念をみんなで検討し、実践できるよう努力していきたい
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	利用者の家族のおかげで、地域との交流コンサートを開催することができ、家族と地域の方がホームで交流することが少しかつきたその席でこれを機会に地域の一人として親しくいただき、助け合っていきたいことを伝える。	0	
	2 地域との支え合い(自己 4~6・外部 3)			自己評価3項目・外部評価1項目	3	
	2 地域との支え合い	4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近所を散歩中に会ったかたには挨拶を交わしている。利用者の家族の協力により、ミニコンサートを開催し、近所の方を招待するために、入居者とともに一軒づつ招待状を配り挨拶を行った。コンサートでは近所の高齢者の方や、子供たちと入居者がお茶を飲みながら歓談した	1	今後もコンサート等を開催、近所との交流に努め、気軽に遊びにきてもらえるように努力していきたい
5 外部評価3		地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区の組合に入会している。お祭りには参加し、獅子舞にきてもらい、地域の方にグループホームの存在を知ってもらった	1	今後は地区の老人会の行事に参加してもらいたいと区長さんをお願いしている	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支 地 域 と い の	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の高齢者への貢献はできていない	1	もっと地域との交流を増やし、どのような高齢者が暮らしているのか、地域の方からの情報をもらえるように努力していかなければと思っている
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	3	
		7 外 部 評 価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回初めての評価であるが、できていないことが多く、これを機会に管理者、職員が必要なことを理解し、少しずつできるように努力しようと話し合った。少しずつではあるが、自覚して取り組んでいる	0	
		3 外 部 評 価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議はあまり活かされていない	1	今度の外部評価の結果について、検討し、意見をいただきたいと思っている
		9 外 部 評 価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	サービスについて解らないことは市役所の介護課に相談している。地域の一員として暮らしているのだが、在宅で受けられるサービスがグループホームに入所していると受けられないサービスが多いと感じる	1	市役所の高齢者介護課は相談しやすい雰囲気であるので、今後も入居者のためにできるだけ、行き来し、相談していきたいと思っている
		10 外 部 評 価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者は研修で何度も学ぶ機会があった、職員にも制度について説明、介護に携わる者として、その知識を周囲に必要な方がいれば、活用して支援するように話し合っている	1	職員にも研修の機会を利用し、学ばせたいと思っている。
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止についての話し合いの機会を設けて資料などを配布して、防止に努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	3	
理念に基づく運営	4 理念を 実践す るため の体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書を説明し、持ち帰ってよく読んでいただき、後日疑問点について質問してもらうようにしている。	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談員が市役所から派遣してこれ、半日くらいを入居者と一緒に過ごされて話を聞いてくれる。その後市役所から事業所へ不満や苦情を伝えることになっている。報告については真摯に受け止め、反省し、サービスに活かすようにしている。時間があれば入居者に寄り添って話を聞くように努力している	1	内部のものが気づかないことを外部者から教えていただくのはありがたいことだと思っている、参考になる意見をお願いしたい。入居者が職員や管理者に話しやすい雰囲気をつくる努力をしていきたい
		14 外部 評価 8	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族が面会に来られた時には必ず、最近の様子について説明している。金銭の管理は個々の出納帳を作成し、内容の説明を行い手渡している。職員の移動については事情を説明している	1	あまり面会にこられない家族へは請求書を送付する際に手紙で様子を知らせたり、電話による連絡をとっていかうと思っている
		15 外部 評価 9	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が訪問されたときは必ず管理者又は職員が挨拶し、話を伺うようにして、要望や意見があればできるだけ添うようにしている。家族が外部に表わせる機会はない。	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議を1ヶ月に1度開催、自由に意見を言えるようにし、全員で検討、決定したことを実行している	1	入居者第一に考えて、職員の意見を重視して良いことは取り入れていかうと思っている。
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	必要に応じて勤務時間を交代したり、緊急に呼び出しや入居者の状況によっては時間外の勤務あることを職員に了解してもらっている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に 基づく 運営	4	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	退職する場合は1ヶ月前に必ず申し出るように職員に徹底している。できるだけ早急に新しい職員を採用し、利用者の状況を十分に引き継ぐようにしている。	0	
	5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)		自己評価6項目・外部評価4項目	2	
	5	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	30代から60代まで幅広く介護職員を雇用している。勤務内容についても、お互いの良いところを發揮し、足りないところを補って協力していくよう指導している。職員が自分の意見を言いやすいように、管理者や事業者も配慮している。	0	
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	入居者の方は人生の大先輩であり、尊敬の念を持って接さなければいけないことを採用時には必ず説明している。職員会議などの機会を利用して、言葉遣いなどについて指導している。	0	
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員会議を利用して認知症の介護や薬の効能副作用、介護保険制度やグループホームのあり方についての資料を作成、検討している	1	今後は他事業所や市が開催する研修にも参加し、グループホームに持ち帰り、勉強会をしていきたい。
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近くのグループホームの管理者との交流の機会があり、お互いに情報を交換したり、サービスについて話し合ったりしている。	1	運営推進会議を通じて、地域の他事業所との交流ができないかと市役所の職員に働きかけている。
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	食事会などを開催し、職員の話聞くようにしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	管理者にはスキルアップのための研修に参加してもらうようにしており、研修内容を職員にも伝え、指導してもらうようにしている。職員にも介護の最新の知識を吸収して、良い介護をしてほしいことを職員会議の際に伝えている。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	5	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から 利用に至る までの関係 づくりとそ の対応	1	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)	自己評価4項目・外部評価1項目	2	
		25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	できるだけそうしたいと思っているが、家庭で暮らすことが困難になって入所することがほとんどなので、家族から話しを聞くことが多い。	1	できるだけ本人の話を聞くように努力していきたい
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族からの話は十分に聞く時間を設けている	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホームに入所する以外の方法が考えられる場合は情報を提供している。	1	本人と家族に一番良いと思われるサービスを提供していきたい。
		28	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人を他の入居者に紹介したり、職員もできるだけ、傍にいて話をして、不安を和らげるようにしている。	0	
		2	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)	自己評価6項目・外部評価1項目	3	
2	29	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	リビングで一緒にソファーに座り、昔の思い出話をしたり、家族の話を聞いたり、料理の作り方を教えてもらっている。庭の手入れや花壇の作り方を手伝ってもらったり、教えてもらっている。	1	利用者が今まで、経験してこられたことを、教えてもらい、とても助かっているし、職員も、あらためて利用者を尊敬して、頼りにしており、とてもいい関係が構築されている、今後もこういう関係を続けていきたい。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	利用者がどうしたら、一番安心して暮らせるか、家族に密に連絡をとり、相談しながら、良い方向に向かうといっしょに喜びあっている。	1	家族に相談してよいかどうか、迷うことも多いができるだけ家族に力になってほしいとお願いしていく
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	誕生会や行事の際にできるだけ家族にも参加してもらおうように声をかけている。病院受診もできるだけ家族にお願いしている。本人が自宅に電話をしたい希望があれば、添うようにしている。	1	家族の方にイベントに参加していただき、利用者を元気づけていきたい。
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自宅に季節の衣類をとりに行くのを手伝ったり、近所の友人が面会にこられたら、再度きてもらえるように、職員が環境作りに配慮している。	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	散歩のときは元気な男性入居者には車椅子をおしてもらったり、女性入居者のサポートをお願いしている。トランプなどのレクでも解るかたが解らない方を横で助けてもらうようにしている。	0	利用者同士で支えあうとお互いにとても良い関係になれるので、今後も職員が手を出しすぎないで、利用者に任せるように配慮していく。
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所の際は思い出の記念アルバムを渡して、いつでも遊びにきてくれるようお願いしている。またいつでも相談に応じられることを伝えている。	0	
		その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価 3項目・外部評価 1項目	1	
	1	35 外部評価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	できるだけ本人と会話する機会を作り、思っていることや、要望の把握に努めている、職員同士で気付いたことを話し合っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいき たい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族や担当のケアマネから情報をもったり本人との会話の中で把握につとめている	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	排泄の時間をチェックしている。レクリエーションや会話をしながら、ひとりひとりの動きや顔色を観察、体調のチェックをしている個人個人のできる力を把握して役割をお願いしている	1	センター方式を活用して、把握に努めていきたい。
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当者会議を開催している。新しい課題が発生したときは家族に相談、職員の意見を聞き本人にも確認しながら介護計画を作成している。	0	
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	必要に応じて、家族に相談、職員と検討、本人の意見も聞き、了解してもらいながら、計画を作成している	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日介護日誌、排泄状況、バイタルを記録、職員一同で情報を共有し、主治医とも相談しながら、介護を実践している。計画の見直しの必要があれば行っている	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	夫婦二人暮らしで認知症の夫を介護している妻が膝関節の手術のため入院することになり妻が回復する間の入所し、サービスを提供した。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	4	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	消防署から、非難訓練の指導にきてもらっている。保育園児と母親による慰問が2ヶ月に1度あり、利用者を和ませている。楽器の演奏などのボランティアによるコンサートを開催している	0	
		43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	退所してデイサービスを利用したいとの意向があり、以前利用していた居宅支援事業者に連絡を取り、訪問してもらった	0	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	今のところ必要性がなく実施していない	0	
		45 外部 評価 21	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	24時間体制での対応ができるかかりつけ医をお願いしているが、本人が今までずっとかかってきた主治医のいる利用者もいるが、2週間に1度の往診があり、近いので受診もすぐにできる。	1	かかりつけ医については家族と本人の希望に応じて決めていただき、連絡を取り合い、適切な医療を受けられるようにしていきたい。
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	入居者の中で一人だけ精神科より退院して入所した方がいるが、現在は落ち着いており、内科医に管理してもらっているが、必要に応じては精神科医と連絡をとっている	0	利用者の状況に応じては、家族と相談し、専門医の治療も受けられるようにしていきたい
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	かかりつけ医療機関の看護師にも気軽に相談できる。管理者も看護師の資格がある。	1	今後も看護師と相談しながら、入居者の体調管理に努めていきたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	山田日赤病院とは入院の必要があるときの支援をお願いしており、入院した場合は連絡を取り合えるようにしている。通院している利用者もいるので、入院中の面会もできる。	0	
		49 外部評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	まだ重度の利用者がいないため、具体的には考えていない。	1	これから先は終末期に向けた方針を作らなければいけないと思っている
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	行っていない	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人、家族から十分に話しを聞き、自宅での生活にあたり、注意すべきことを伝えた。居宅サービスの利用について検討、居宅のケアマネに情報を提供する。	1	居宅のケアマネや包括支援センターとの連携を深めていきたい。
		その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価3 8項目・外部評価1 1項目
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価3 0項目・外部評価9 項目	12	
		(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)		自己評価3 項目・外部評価2 項目	3	
		52 外部評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者に尊敬の念を持って接するように話し合っている。居室に入るときも必ず声をかけてから入室する。更衣などの際はドアを閉めるようにしている。記録も名前は書かない。	1	長い付き合いになると、言葉使いが慣れあいになってくることがあるので、職員会議などで、気がついたことを注意していくことにしている。
		53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	市役所や福祉事務所からの郵便物等、本人に渡して、開封し説明納得してもらっている。預かっている現金の出納について説明、自由に使えるお金があることを了解してもらっている。みんなで仲良く暮らすこと、我慢しなければならないこともあることを納得してもらっている。職員が時間のある限り利用者の話を聞くことを大切にしている	1	本人が生き生きと希望を持って暮らせるよう職員全員で寄り添って話を聴いていくことにしている

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでほしい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴や食事の時間などは決まっていることを優先している。自由な時間は利用者の意向に副って、サービス目標を考慮しながら、支援している	1	食事も決まった時間に食べなくなれば、後にまわしたり、居室で静かに過ごしたり、居室で本を読んだり、自分の好きなことをしたいという、本人の意思を尊重していきたい。
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	3	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	洋服の買い物には本人を連れていき、選んでもらっている。その日に着る服についてはできるだけ自分で選んでもらっている。	1	バスハイクなど全員でできる機会をつくりおしゃれをしてでかけてもらいたい。
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	箸を並べたり、食卓台の上を拭いたり、後片付けに食器を集めたりしてもらっている。味見や味付けのアドバイスをお願いしている。	1	買い物と一緒にいき、食事の献立を考えてもらったりしたいと思っている
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	一人ひとりに合わせてはできていないが、おやつはいろいろなものを考えて提供している飲み物は本人の希望に応じて、コーヒー、お茶などを楽しめるようにしている。	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表で時間を把握し、声かけ、誘導しており、紙パンツを使用しているが、失敗することはほとんどなく、トイレにて排泄している。	1	こんごもできるだけオムツや紙パンツの使用を減らしていくことを目標にしている
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	月・水・金曜日に入浴日を決めている。午前中から、ひとりづつゆっくり入浴を楽しんでもらうようにしている。午前や午後で本人の希望にあわせている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	早く休む方や遅くまで起きている方といるいるだが、本人のリズムに合わせて、自由にしてもらっている。昼寝をする方、しない方もおられ、本人の希望に任せている。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	3	
		61 外部 評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	力仕事やリーダー的存在の方にはそういう役割をお願いし、女性の方には料理の相談、アドバイスをお願いし、きちんとお礼を言っている。若いころのことを聞かせてもらい、参考になったことを伝えると喜んでくれる。	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人にはお金を持たせていないが、管理者が預かっていること、いつでも使えることを説明している。	1	買い物にでかけ、本人にお金を持たせ、ショッピングを楽しんでもらいたいと思っている。
		63 外部 評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近所の散歩、庭の散歩など、希望にそって行っている。自宅に荷物をとりに行ったり、買い物にもいく。	1	市や他事業所のイベントなどに参加させたいと考えている
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	海辺の町へバスに乗って入居者全員で魚料理を食べに出掛けた。	1	年に2回くらいはバスハイクと食事にでかけたいと思っている。また家族の同伴も考えている。
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は希望に応じて自由にかけさせている。手紙を受け取った場合職員が本人に渡し、開けさせて、わからない場合は説明している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで きたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	家族や知人の訪問があれば職員は業務の手を止めて挨拶するようにしている。必ずお茶をだすこと、帰りは玄関までお送りするようにしている。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	2	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については職員にマニュアルを作り説明している。現在はそのような状況の入居者はいない。	1	これからも身体拘束をしないで、事故のない介護ができるよう努力していくことを職員で話し合っている。	
		68 外部評価 29	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や日中玄関に鍵をかけることは今のところ全くない。	0		
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	居室に入るときは必ずノックして声をかけてからはいるようにしている。夜間は時間毎の巡視で起こさないように配慮している。	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者の状態に合わせてホールや食堂で座る場所を決めたり、居室に置くものや履物などを決めていく。	0		
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリ・ハット、事故報告書などを活用し、常に職員間で再発防止について話し合っている。食事の際の声かけ、見守りを行い、服薬も名前と日付を確認、チェック、必要な方には口腔内に入れている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時は提携医療機関に連絡、指示を仰ぎ、管理者や責任者にも連絡する。事故発生時は管理者に連絡をとり、支持を仰ぐようにしている。	1	応急手当や初期対応のマニュアルを作成し、勉強会を行いたいと思っている。
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	昼間の火災時の非難訓練は行ったが、夜間の訓練はできていない。地域との連携もできていない。	0	
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	入所の際家族にはリスクについては説明し、防止するために最善の努力をすることを伝えている。また現在は動きを制限しなければならないような入居者はいない。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75～81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	1	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日、バイタルチェックを行い、細やかな観察と情報を共有し、体調の変化や異変には速やかに対処し、必要に応じて主治医に報告、指示を仰ぎ、往診をお願いすることもある。業務日誌や申し送りなどで、職員全員に伝えるようにしている。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人のファイルに薬の説明書をつけて、確認できるようにしている。服薬が変更になったときや副作用が重要な要素がある場合は連絡帳で職員全員に伝達できるようにしている。調整が必要な便秘薬や睡眠導入剤などについては熟知している。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分補給と野菜中心の食事を取り入れ、散歩や体操など身体を動かすように支援している排便状態のチェックを行い、下剤服用の調整も行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアの声かけ、必要な方には介助を行っている。週1回のポリドント洗浄と歯科医師、歯科衛生士による口腔ケアの受けている。	0		
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食べる量に合わせて、食事の準備をしている。状態にあわせて、刻んだり、柔らかいものにしたり、肉が食べられない方には魚、卵で代用したり、十分に栄養がとれるように配慮している	0		
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	取り決めはないが、週に1回のシーツ交換は必ず行う。インフルエンザの予防注射は希望者だけしている。肝炎検査は入居者全員受けてもらっている。	1	感染症がある場合は洗濯物は別にするようにしている	
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材の賞味期限などを注意している。台所、調理器具は常に清潔に保つよう心がけている食器類は食器乾燥機による乾燥を行っている	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	0	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5項目・外部評価 2項目	0	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りには花や木を配置、明るく広々と開放的な雰囲気作りをこころがけている。	0		
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	行事などの写真、季節に応じた入居者手作りの貼り絵などを飾り、ソファなどに座って庭を眺めながら、ゆったり過ごせるようにしている。トイレは2時間毎に掃除をして気持ちよく使えるようにしている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを置き、入居者同士会話をしたり、ひとりであたたかさをしたり自由に過ごしてもらっている。ベランダにでて日向ぼっこをする方もいる。	0		
		85 外部評価33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には本人の使いなれたものを持ってきてもらっている。置き場所など本人の意見を聞いて決めている。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	市販の消臭剤、換気扇、こまめな掃除で臭いがしないようにしている。温度調節は基本の温度を決めており、入居者の様子や意見を聞きながら温度調節を行っている。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下や玄関、浴室に手摺を設置、安全に動けるように工夫している。	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	できるだけ声かけ、見守りにて対応している洗濯物たたみや掃除、花壇作りなどを手伝ってもらい、意見を聞くようにしている。	0		
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	広い庭があり、散歩や花作りを楽しめるようにしている。ベランダにもテーブルや椅子を配置し、日向ぼっこやひとり静かに過ごせるようにしている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	1	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。